

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形



あく み ぐん ゆ さ まち
山形県飽海郡遊佐町

庄内森林管理署

遊佐町は、山形県の北部に位置し、秋田県に接しています。秋田県とは国道7号線（羽州街道）でつながり、古くからの街道筋にあたります。

元禄年間の夏の日、俳人松尾芭蕉と弟子の河合曾良は酒田から象潟に向かいました。今でこそ松林がありますが、当時は砂丘であったといわれ、芭蕉が歩いた際も潮風が砂を吹上げ、その後大雨に見舞われたため、遊佐町の吹浦に宿泊したようです。その後象潟で蚶満寺などを見物、象潟からの酒田への帰路は、諸説あって陸路とも船路ともいわれますが、晴天に恵まれ、鳥海山や日本海の雄大な景色を堪能したことでしょう。芭蕉は訪れた際に「あつみやや吹浦かけて夕すゞみ」と詠んだとされています。



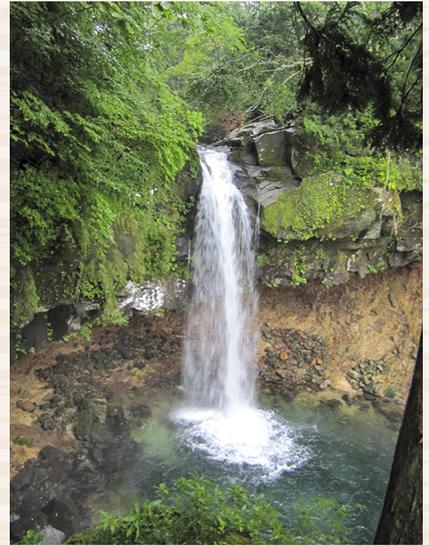
鳥海山を背景に吹浦方面を見る

芭蕉が見た鳥海山は、その美しい姿から、出羽富士または庄内富士と呼ばれ親しまれています。カルデラ火口の変化に富んだ登山ルート、多様な高山植物、日本海を見渡せる眺望などから、人気の山ランキングで上位に位置づけられ、シーズン中は多くの登山者・ハイカーで賑わいます。



水田に映える鳥海山

その鳥海山山麓には豊かな水に恵まれ、数多くの滝や湧水があります。迫力ある瀑布の一ノ滝、二ノ滝はいつも冷涼感に包まれています。「丸池様」は鳥海山の湧水で満たされ、透き通った池の水がエメラルドグリーンに輝く姿は神秘的で圧倒的な美しさです。これら一帯は、鳥海山・飛島ジオパークに認定されています。



一ノ滝の瀑布

また、集落内にある湧水スポットは生活に欠かせない存在で、地元から大切にされ、日本酒やウイスキーの醸造にも利用されています。ミネラルに富んだ湧水は日本海で岩ガキも育み、その食感は忘れられない逸品です。鳥海山は海山双方に多くの恵みをもたらします。

遊佐町では伝統文化も受け継がれており、「女鹿」集落には、秋田県男鹿のナマハゲとよく似た「アマハゲ」という行事があります。アマハゲは、五穀豊穡と心身堅固を願い、怠け者をいさめる小正月の行事で、起源は男鹿のナマハゲと一緒に言われています。アマハゲは平成11年に国指定重要無形民俗文化財に指定、平成30年にユネスコの無形文化遺産に登録されています。

このように伝統文化、雄大な自然と食が豊かな遊佐町に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



アマハゲ (写真遊佐町役場提供)

このように伝統文化、雄大な自然と食が豊かな遊佐町に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

お問合せ先：遊佐町企画課観光物産係 Tel.0234-72-3311 (代表)

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

